

令和3年度文化財保護審議会 会議録

- 1 開催日時
令和4年2月7日（月）
開会 午後2時
閉会 午後4時
- 2 開催場所
尾張旭市役所3階 302・303会議室
- 3 出席委員
齋場和志、桐原千文 2名
- 4 欠席委員
岡本直久、奥野絵美 2名
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
教育部長 三浦 明
文化スポーツ課長 加藤 剛
文化スポーツ課長補佐 加茂恵司郎
文化スポーツ課 田口麻花、藤森あかね 5名
- 7 議題等
 - (1) 議題
 - ア 令和3年度文化財保護関連事業の実績等について
 - イ 市指定文化財第9号「狩宿郷倉」壁板修繕について
 - ウ 今後の文化財保護の活動について

8 会議の要旨

会長	ただ今から、令和3年度尾張旭市文化財保護審議会を開催いたします。 尾張旭市文化財保護条例の規定による定足数に達しておりますので、会議を始めたいと思います。 議題に入る前に三浦教育部長よりあいさつをお願いします。
教育部長	(あいさつ)
会長	ありがとうございました。 それでは、議事に入らせていただきます。 本日の会議は、議題が三つございます。 議題1 令和3年度文化財保護関連事業の実績等について、説明をお願いします。
事務局	(資料1に基づき説明)
会長	ありがとうございました。

	ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございませんか。
桐原委員	円空仏の燻蒸の件で、定期的に状況を把握するという事で、温湿度計を入れられたと思いますが、データが出るものでしょうか。
事務局	パソコンに繋いでデータを抜き出すタイプで、150日単位で抜き出そうと思っています。また、冬に入ってから乾燥しているので、ケースの業者に依頼して、現在調整中です。
桐原委員	通常は一週間くらいでチェックするので、こまめにチェックした方が良いと思います。乾燥は怖いので空調で調整はつきますか。展示ケースのほうを調整しようとしていますか。
事務局	展示ケースが何年か経ってガラスが反ってきており、調湿剤も十分に機能していない状態になっていますので、現在ケースを調整しているところです。
桐原委員	何年かといっても、そこまで経っていないですよ。エアタイトであれば少し短すぎると思います。ただ、エアタイトであったとしても、環境の影響も無いわけではありません。
事務局	休館していた時期のデータを見ると、そこまで影響はなかったです。
桐原委員	空調が動いていないため、逆に影響が少ないのですね。 名古屋市博物館でも、約40年前のエアタイトは性能が良くないので、水が入った皿を入れざるを得ません。ケースを調整するというのも良いとは思いますが、乾燥するときはそういったことも考えて調整していった方が良いのではないかと思います。 また虫については、不安な時は、強烈な薬でなくても、家庭用の噴霧式の薬のようなものを試してみるのも良いと思います。 こまめに状況を確認し、その場所に適した方法を考えていただければと思います。 質問が変わりますが、市民との交流について、「夏の祈り」展示で色々取材をされたということですが、今までと違った形で行ったのでしょうか。
事務局	これまでもこういったやり方をしてきましたが、今回は特に、今までの調査の資料もあまり無かったので、この機会に広い範囲の地域のかたにお聞きしました。
桐原委員	歴史民俗フロアの配置が変わったように感じましたが、展示の場所は同じですか。パネルが大きくなったような気がします。
事務局	場所は同じです。展示ケースの上に大きな展示の簡単な説明パネルを付けたのと、最近問い合わせがあるので城山古窯の常設展示を追加しました。
桐原委員	雰囲気は少し変わったということですね。常設展示は市がやってみえて、企画展の部分が委託をされているということですね。今回、

	「夏の祈り」の展示はNPOに委託されたわけではないのですか。
事務局	今回も例年通り委託しております。基本的には、市とNPOが協働で展示を作り、パンフレットのデザインや展示パネルの作成等を委託しています。これまでも同じ形で展示を作ってきましたが、今回は調査が増えました。
桐原委員	市内で活動されている団体等から、自分たちの研究も聞いてほしいという意見もあると思います。そういった団体等から展示に関して意見を聞く場はありますか。
事務局	尾張古文書の会に関しては、今の展示と一緒にやっていますので機会はあると思います。また、民具研究会についても、mini 民具企画展と一緒にやっていますので機会は十分あると思います。ふるさとガイド旭に関しては、毎年春に意見共有をする懇談会がありますが、その場でもそういった意見は出ていないです。 今回の「夏の祈り」の展示に関しては、地元の色々な方に話を聞きました。中にはふるさとガイド旭の会員の方、民具研究会の方、古文書の会の方にも話を聞いておりますので、会にお願いするというよりは、展示の内容によって、話を聞く人を選んでいきます。
桐原委員	大変だとは思いますが、色々な形で活動されている方が展示に関して意見を言える場があっても良いという気がします。
会長	桐原委員、ありがとうございます。 なかなか活動できない一年だったと思いますが、たくさんの企画をしているという印象を受けました。また、昨年度指摘のあった部分についても具体的に対応されていると思います。 逆に、コロナ禍だからこそできた部分もいくつかあると思います。無形民俗文化財保存会の会員数が174人も増加したというのは、マイナスの状況の中で、プラスに転じた典型的な結果だと感じました。
事務局	警固がある予定だったので、それに向けて各保存会が活動を積極的にされ、お声掛けされた結果です。
会長	減ったものを持ち直すというのは個別の働きかけしかないと思います。 収蔵庫について、整理は必要だと思いますが、どのように整理される予定ですか。
事務局	収蔵庫につきましては、議題3にてお話いたします。
会長	「尾張旭七城めぐり」の御城印を370枚配られたということですが、これは団体でまわられたのでしょうか。強い関心を持った人でないと実際に巡ろうというかたは多くないように思いますが。
事務局	実際に受付をしているのはスカイワードあさひの窓口なので、実際に全員を見たわけではないのですが、いま御城印がブームで、お問合せいただくのは基本的に個人のかたです。お城好きの人のホームページに載るだとか、一番有名ではない井田東城についての問い

	合わせはたくさんありました。
会長	<p>探すのも面白いのでしょうか。尾張旭七城めぐりで人が呼べるんだということにびっくりしました。</p> <p>子供向け史跡めぐりについて、印場大塚古墳の模型工作を行ったということですが、子どもは喜びましたか。</p>
事務局	<p>来て下さった子たちには楽しんでいただけたかと思います。印場大塚古墳の模型と同じ縮尺で自分の形を作るだとか、円筒埴輪を同じ縮尺で発見されたものと同じ数並べるだとか、画用紙に学んだことを書くだとか、歴史好きの子が集まりましたので、楽しんでやっていただけたかと思います。</p>
会長	<p>「カルタを作ろう」の、札は読み札か絵札と両方募集したのですね。</p>
事務局	<p>読み札と絵札両方作っていただいても良いですし、読み札だけでも大丈夫だとしました。</p>
会長	<p>集まった札もこれから使えそうですね。これは展示をされたのですか。</p>
事務局	<p>1月に中央公民館で展示しました。</p>
会長	<p>またぜひ良い企画は自由に行き来できるようになったらお願いしたいと思います。</p> <p>最後の質問ですが、どうだん亭について、一般公開の期間を短縮するのはなぜですか。貸館の方は、人気なんだろうと思いますが、一般の人に自由に見てもらえる機会が大事だと思います。周知が済んだから一般公開を短縮するのはどうかと思います。</p>
事務局	<p>現在土日2回と平日5日間ですが、土日を1回にすることを検討しています。また今年度はどうだん亭の紅葉の状況の動画をホームページに掲載しました。</p>
会長	<p>動画を見れば、現場に行って雰囲気を感じたいという人も増えますよね。一般公開の期間中に、借りたい団体をお断りしているケースが多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>一般公開の期間中は花や紅葉が綺麗なので、その時期に借りたいというかたが集中します。</p>
桐原委員	<p>借りる方はどのような目的なのですか。</p>
事務局	<p>色々ありますが、結婚式の前撮りや茶道教室、ヨガ等が多いです。茶道教室は文化協会の茶華道部会の先生方の教室です。</p>
教育部長	<p>一般公開が春だと1,017人、秋が3,474人の方が見えています。以前は普通の民家だったので、3,000人も来るとかなり傷みも激しくなっており、修繕もかなり行っておりますので、今後耐えられるかという問題もあります。以前と比べて来場者数も減少傾向にあり、どうだん亭の周知という当初の目的は果たしたとも思います。ただ、すぐに全部やめるということではなくて、期間を短くしたらどうか</p>

	<p>というところで検討しています。</p> <p>委員の皆様からも意見をもらい、一般のかたに見ていただく機会を増やす必要があれば、また検討しなければならないと思っています。</p>
桐原委員	一般公開は完全に無料ですか。
教育部長	一般公開の時は無料です。
桐原委員	その施設に対してニーズがあれば、ある程度人数制限や有料化等少しハードルを上げるようなことを考えても良いかと思います。コロナ禍なので、予約制にするのは悪くなさそうな気がします。
会長	どうだん亭は、貸館が主で一般公開は皆さんに知ってもらうための手段ということを知らなかったのですが、あのような建物は貸館よりも一般公開の方が主ではないのかと思います。
教育部長	貸館を始めた当初は、あまり利用が無かったので、一般公開をして貸館施設だということを周知するため一般公開を始めたと聞いています。現在、貸館が埋まるようになってきているため、一般公開の目的が変わってきております。どうだん亭が尾張旭のPRの題材になっており、市のシンボリックな施設になっています。そういったなかで、一般公開があつて施設に対するダメージも出てきているので、難しい局面を迎えたと思っています。
事務局	NHKに取り上げていただいたときに非常に多くの方が訪れて、地元の方に非常に迷惑をお掛けしましたので、ガードマンを立てずに行うのは、地域のかたにも許していただけないと思います。
桐原委員	外から人がみえるのであれば、ガードマンでなくても、管理する人がいると思いますが、職員のかたはいないのですか。
事務局	職員はいませんが、近くに住んでいるかたに管理を委託しています。もともとの持ち主のゆかりの方なので、内情も色々とお知り、とても親身になってお世話していただいております。
教育部長	一般公開を行う前には必ず自治会長に「今回はこういう体制で行います」ということを説明に伺っています。
桐原委員	やはり、人数制限や料金徴収などを含めて検討されたら良い気がします。皆さんに安心して見ていただくことが大前提だと思います。
会長	貸館の利用者はどのように来られるのですか。
事務局	車で来られる方が多いですが、人数が限られています。
桐原委員	事前予約であれば、必ず公共交通機関で来てくださいますと言えそうですが、3,500人の予約となるとそれも難しそうですね。
会長	人数を分散させるしかないですね。一般公開の話のなかで、期間短縮という言葉がでたので少し引っ掛かりました。
事務局	事前予約となれば、今の時代インターネットでの受付が主になってくると思いますが、ご年配のかたも多いため、インターネットで

	は対応しづらいとも思います。電話での受付にすると、とてもコントロールしきれない数の申込がある可能性もあるので、予約の導入については悩んでいるところです。
桐原委員	往復はがき限定でやるのはどうですか。個人情報が残るので、公的な機関では敬遠されますが、確実な手段ではあります。
会長	電話での対応は受ける方が大変ですし、インターネットとなると不慣れな方から不評になるかと思います。
桐原委員	インターネットは受けるだけになるので、相手の確認が難しく、返せなくなることがあります。
会長	往復はがきは良いかもしれませんね。ただ、たくさん来ると大変ですね。
桐原委員	好きなどころを選ばれると整理しづらくなるので一日について一枚等、色々な仕組みは必要だと思います。
事務局	手元に残るものが無いと、ご本人の記憶と違うことがあり、違う時間に来てしまうというような問題が出てしまうこともありますので、やり方については検討の必要があります。
会長	一般公開の短縮というところも含めて検討して下さい。
教育部長	委員の皆様の見解も踏まえて、試行的に短縮するかもしれませんが、春の一般公開に向けて、準備を進めていきたいと思っています。
会長	試行してその結果どうしたら良いのかということを検討いただければと思います。 ありがとうございます。 続いて議題2市指定文化財第9号「狩宿郷倉」壁板修繕について、説明をお願いします。
事務局	(資料2に基づき説明)
会長	質問はありますか。
桐原委員	修繕ということは、剥がれてきているところは、それにあたるものに取り換えるということですか。
事務局	板を張替えます。
桐原委員	他の所で実績のある業者というのは、文化財を特定してやっつけらっしゃるということですか。
事務局	特定というわけではありませんが、文化財の修繕の実績のある業者を周辺自治体に聞いたのと、文化財の専門でない業者とにどういった直し方ができるかというのを聞きました。価格としても専門業者のほうが少し安いくらいでした。
桐原委員	専門業者さんはどれくらいの実績があるのでしょうか。
事務局	詳しいところまではまだ調べていませんが、周辺の自治体に聞いて、文化財の修繕の実績があるところです。
桐原委員	大手ですか。

事務局	大手ではありませんが、愛知県内の業者です。
桐原委員	文化財の修繕だけやるところもありますし、大手でもやっているところがあるので、選定はよく考えた方が良いと思いますし、木でするので、専門でない業者がやると木が暴れることがありますので、また情報がありましたら提供します。
会長	ありがとうございました。 続いて、議題 3 今後の文化財保護の活動について、説明をお願いします
事務局	(資料3に基づき説明)
会長	ありがとうございます。 保育園のリズム遊びは良いですね。打ちはやしも良いですが、ざい踊りでやっても良さそうですね。いずれにしても子供が楽しんでできるので、結果を楽しみにしています。 それから、中日新聞を見ましたが、50周年のシンポジウムに合わせてふるさとガイド旭さんが、白山林の戦いの展示をされるということなので、ぜひ同盟も参加されると面白くなると思います。これは意図的にされたのでしょうか。
事務局	50周年のシンポジウムは担当課の企画課で進んでいますが、その中で小牧・長久手の戦いの重要な戦いの場所が尾張旭にあったということが知られていないので、こういった機会に周知できればということで、シンポジウムに来ていただいた方も見る事が出来るように企画されました。なお、同盟とシンポジウムは直接的な結びつきがあるわけではなくて、たまたま時期が重なったということです。
会長	展示はシンポジウムに参加しなくても見られるのですか。
事務局	ご覧いただけます。
会長	良い重なりですね。分かりました。 文化財のガチャガチャについて、あさびーのガチャガチャは下でやっていますよね。今度はスカイワードあさひの歴史民俗フロアですか。
事務局	はい。全国的にも有名で最初にイメージしやすかったのが円空仏ですが、物はこれから考えたいと思います。親しみやすい物になれば良いと思います。
会長	円空仏と決めているわけではないのですね。
事務局	そうですね。尾張旭市だけではなく、他の市の人にも興味を持ってもらえるようなものにしたいと思います。どういった物にするかというのは、まだ業者と詰めることもしていないので、まずは、こういった取り組みを委員の皆様にご意見をいただきながらこれから柔軟にしていきたいと思っています。
会長	これからというところですね。文化財というと堅苦しくなってし

	<p>まうので、ガチャガチャは良いと思いました。</p> <p>桐原委員、名古屋市ではそういった取り組みはしていますか。</p>
桐原委員	<p>名古屋市も素材に困ってしまいます。</p> <p>出土物もガチャガチャになっているところもありますよね。</p>
会長	<p>考えるのも楽しいですね。他にありますか。</p>
桐原委員	<p>収蔵庫の不要資料の整理は、欲しい人に手を挙げてもらうかたちですか。</p>
事務局	<p>北栄みらい伝承館の取組としては、収蔵庫の資料がたくさんあり収まりきらないので、インターネット上で物の紹介をして、実際にその方たちに来ていただいて、お渡しするという取組です。物が欲しい人も、市側としても物を手放すことができるので、win-winの関係になると思います。この取り組みが注目されて、色々なところで発表されていましたが、そういった取り組みを参考に検討していけるように、まずは整理から始めていきたいと思います。</p>
桐原委員	<p>不要というのは、同じ物が何個もあるということですよ。例えば、出前とかで使う物のセットは作っておいた上でさらに余ったものを捨てるということになりますか。</p>
事務局	<p>例えば学校に出前で使う物や壊れやすいものは複数取っておいて、それでも同じ種類のもので5つある等、そういったことを把握するため、まずは棚卸しをして、具体的に同じようなものがいくつあるかを整理したいと思っています。</p>
会長	<p>「不要な物を譲渡」という表現を変えたほうが良いと思います</p>
桐原委員	<p>「複数あるものについては、御希望のかたに譲渡します」とすれば、秘蔵するのではなく他に活用を求めてという雰囲気伝わるとと思います。これは難しい問題で、捨てるしまうと文化財の使命に反してしまうので、いかに筋を通して説明するかということが大事だと思います。</p>
事務局	<p>ここの例ですと「除籍」という言葉を使って説明されていましたが、そのためには整理が必要ということですね。</p>
桐原委員	<p>全て籍があるのですか。記録は残しているのですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
桐原委員	<p>それで整理をして、データができれば、入ってくる時点での照合がしやすくなりますよね。</p>
事務局	<p>もともとが何年前にやむを得ず廃棄処分したことがあって、この取り組みを本市の学芸員が見つけてきて、全国から希望者が集まったということだったので、ぜひそういった形で、その後も使ってもらえたほうが良いと思うので、考えているところです。</p>
会長	<p>寄贈して下さった方もそのほうが嬉しいですよ。</p> <p>他にありますか。</p>

桐原委員	<p>スカイワードの展示を見てきたのですが、委託業者が入ってやっている部分と地域のかたの手作り感がある部分の手作り感がはっきりしてしまっているのが気になりました。内容は充実しているのですが、見やすさという部分では、展示に慣れている方たちのノウハウが使えないかと思います。例えば、常設展示の文化財のパネルのところでも虫ピンとダルマピンとが混在していますので、整理するだけでも見やすくなると思います。また全体的に文字が小さいのでアドバイスをされると見やすくなると思います。古文書の会の展示でも、市役所の展示パネルのようなものに貼ってあればまだ良いと思うのですが、直接壁に貼っている状況なので、もう少しアドバイスをしたら良いと思います。手があるようであれば、企画展をやってもらっている部分を、少し予算をやりくりして手伝ってもらってもいいと思います。</p> <p>前回、村絵図が見にくくなっているという意見があったかと思いますが、劣化しているのでパネルにするという手もあると思います。</p>
事務局	<p>今年度の50周年の企画展で、村絵図のパネルを作ったので、そのパネルを活用しようかと思っております。</p>
会長	<p>本日予定しておりました全ての議題を終えましたので、これもちまして、令和3年度文化財保護審議会を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>